

若手会員の会 活動報告

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/welnet/>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

第35回若手会員の会 運営委員会報告

若手会員の会運営委員会委員長 佐藤 裕 (東北大学)

Minutes of the 35th Meeting of the WELNET Steering Committee

去る9月21日、溶接学会全国大会の開催に合わせて、若手会員の会運営委員会を開催しました。運営委員同士の自己紹介に続き、昨年度の会計報告、活動状況の確認、今年度の活動計画について議論が行われました。以下に会員の皆様にも関連する事項についてご報告致します。

日時：平成18年9月21日(木) 12:15～13:00

場所：北海道大学高等教育機能開発総合センター

2階会議室 N244

出席者：委員長、副委員長ほか運営委員 計14名

1. グローバルネットワーク形成プロジェクトへの支援

特に東南アジア地域を対象とした国際的な情報交換や人的交流あるいは活動の場を形成するためのグローバルネットワーク形成プロジェクトが溶接学会に属する若手メンバー主体で活動中です。このプロジェクトに対して当会が全面的に支援を行っており、今年度は以下のシンポジウム、セミナーが行われたことが報告されました。

- ・第2回日韓若手溶接研究者合同シンポジウム(2006年4月13日、東京ビックサイト)：参加者数約40名
- ・アジア若手研究者フォーラム(2006年5月18日、中国・北京)：6名が参加

さらに、2006年11月24日にタイ・バンコクにてアジア若手研究者フォーラムが予定されており、このセミナーへの人的・金銭的支援などを継続することが確認されました。

また、次年度韓国にて開催予定の第3回日韓若手溶接研究者合同シンポジウム(日時、開催地未定)への人的・金銭的支援なども確認されました。

2. ホームページの外部委託

当会ホームページのレイアウト作成に関する外部委託について素案が提示されました。当会の活動に関する情報を常に最新に保ち、広く公表するために必要な措置ですので、外部委託を早急に実施する方向で同意が得られました。

3. 若手の国際研究集会参加渡航費の援助事業

国際研究集会へ参加を希望しながら、渡航費不足等で参加できない若手溶接研究者に対して、渡航費の一部もしくは全額を援助する事業について話し合われました。次代の溶接界を担う若手研究者のメリットとなる事業であり、当会の主旨にも合致することから、今後、当会財務体制を考慮しながら前向きに検討することが確認されました。詳細について、別途メーリングリスト等で審議することとなりました。

4. 継続審議事項

その他、以下が継続審議事項となりました。

1. 次回春季大会でのイブニングフォーラムの実施内容
2. 見学会、基礎セミナー、勉強会の実施
3. 次年度の学会誌若手特集記事の内容

継続審議となった案件について、皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。当会は「楽しく参加できる会」を目指しており、さらなる活動の活性化のため、運営委員会では常に新しい力の参加を求めています。

今後も若手会員の会に幅広いご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。